



東京湾再生官民連携フォーラム
平成 26 年度事業報告
(活動経過)

平成 27 年 3 月

東京湾再生官民連携フォーラム

目次

I. 事業期間	1
II. 事業の成果	1
III. 事業実施経過	1
◆東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 1 回企画運営委員会	1
◆東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 2 回企画運営委員会	2
◆東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 3 回企画運営委員会	2
IV. 会員募集の実施 (2015.2 月までの推移結果)	2
V. 東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度総会	4
広報活動(東京湾大感謝祭関連報道実績)	7
VI. プロジェクトチームの活動状況	9
◇モニタリング PT (PT 長 横浜国立大学 客員教授 古川 恵太)	9
◇生き物生息場づくり PT (PT 長 東京大学大学院 教授 佐々木 淳)	9
◇指標 PT (PT 長 国土交通省国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室長 岡田 知也)	10
◇東京湾大感謝祭 PT (PT 長 NPO 法人海辺づくり研究会 理事・事務局長 木村 尚)	11
◇パブリックアクセス PT (PT 長 NPO 法人 横浜創造まちづくり学会 会長 竹口 秀夫)	12
◇江戸前ブランド育成 PT (PT 長 水産庁漁政部加工流通課課長補佐 上田 勝彦)	13
VII フォーラムとの連携事業	14
VIII 東京湾大感謝祭 2014 の実施	15
感謝祭有料出展協力組織・団体	16
広場ステージ 2014.10.25 スタート	17
■広場 江戸前の食	19
■広場ブース	20
■オープニングセレモニー	22
■東京湾海上 プレジャーボート クルーズ船体験	23
■ハゼ釣り教室	25
■赤レンガ 1 号館 3 F ホール ワークショップ 歴史文化展示	25
■ホール展示の参加組織・団体	26
■来場者 8 万 2,000 人	28
■東京湾大感謝祭 2014 開催会場アンケート結果	29
■東京湾大感謝祭 2014 実行委員会メンバー	32
■東京湾大感謝祭 2014 開催に伴う支援組織協力団体	33
■資料編 2013	34

I. 事業期間

平成 26 年（2014）4 月 1 日 ～ 平成 27 年（2015）3 月 31 日

II. 事業の成果

主な活動成果は、以下の通り。

- 平成 26 年 7 月 31 日、新しく二つの P T が発足した。
 - ・企画運営委員会の審議を得て、「東京湾パブリック・アクセス方策検討 PT」、「東京湾での海水浴復活の方策検討 PT」が活動を開始する。同時に P T メンバーの募集を実施する。
- 東京湾再生官民連携フォーラムのシンボルロゴマークが選定された。
- 「生物多様性アクション大賞 2014」へ応募し、「まもろう伝えよう」でフォーラム活動が入賞する。
 - ・10 月 11 日事務局より通知を受ける。応募総数 124 件（主催：国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）共催：一般財団法人セブン-イレブン記念財団、協賛：前田建設工業株式会社、セキスイハイム、森ビル株式会社）
- 東京湾大感謝祭 10 月 25 日（土）、26 日（日）、横浜赤レンガ倉庫で開催する。
 - ・天候に恵まれて 2 日間で 8 万 2,000 人の来場実績を作る。
- 11 月 17 日（月）、東京湾再生官民連携フォーラムから東京湾再生推進会議への政策提案として「新たな指標に関する提案」と指標についての解説書が提出された。
 - ・指標 P T（P T 長 国土技術総合研究所 岡田室長）が、フォーラムで初めての政策提案をまとめ、来生フォーラム議長から東京湾再生推進会議幹事長 海上保安庁総務部露木参事官へ提出する。

III. 事業実施経過

（開催経過）

◆東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 1 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 26 年 5 月 27 日 16:00～18:30
2. 開催場所 第 2 秋山ビル（虎ノ門 HILLS）2 階ホール
3. 議事次第
 - ≪ 審議事項 ≫
 1. 平成 25 年度活動報告および決算報告
 2. 平成 26 年度活動計画および予算
 3. 新 P T の設立審議
 - ≪ 報告事項 ≫
 1. P T 活動状況報告
 2. 事務局報告
 - 1) フォーラムロゴマークの制定・審議報告

- 2) フォーラム英語表記について
- 3) フォーラム総会、シンポジウム、東京湾大感謝祭の日程設定等

◆東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 2 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 26 年 7 月 31 日 16:00～18:00
 2. 開催場所 第 2 秋山ビル (虎ノ門 HILLS) 2 階ホール
 3. 議事次第
- « 審議事項 »
1. フォーラム設置要綱および運営ルールの一部改正について
 2. 新 P T 設立における指示ミッションおよび P T 長指名について
 - 1) 東京湾パブリック・アクセス PT
(申請者：N P O 法人横浜創造まちづくり学会 会長 竹口秀夫 氏)
 - 2) 東京湾での海水浴復活の方策検討 PT
(申請者：認定 N P O 法人ふるさと東京を考える実行委員会 理事長 関口雄三 氏)
 3. 平成 26 年度フォーラム総会および東京湾大感謝祭のプログラムの概要 (案) について
- « 報告事項 »
1. PT 活動状況報告
 2. 事務局報告
 - 1) ロゴマークの商標登録について
 - 2) ゴマーク最優秀者表彰について

◆東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 3 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 26 年 10 月 3 日 16:00～18:00
 2. 開催場所 第 2 秋山ビル (虎ノ門 HILLS) 2 階ホール
 3. 議事次第
- « 審議事項 »
1. 東京湾再生官民連携フォーラム平成 26 年度総会議事次第 (案) の変更について
 2. 指標 P T からの政策提案について
- « 報告事項 »
1. PT 活動状況報告

IV. 会員募集の実施 (2015.2 月までの推移結果)

東京湾再生に向け、多様な関係者との連携・協働による取組を進める場として、平成 25 年 11 月 23 日

に設立された「東京湾再生官民連携フォーラム」（以下、フォーラムという）の趣旨に賛同し、会への参加を希望し、会員への登録を申し込んだ者は誰でも会員となる。

会委員の募集に当たっては、フォーラム設立の前の平成 25 年 8.13 より事前に会員募集の実施をホームページなどを通じて行った。

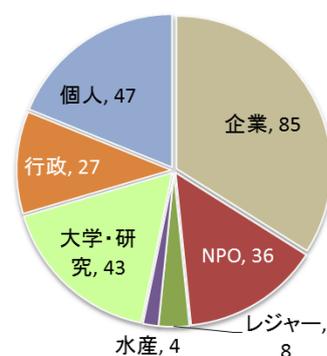
東京湾の再生にあたっては、東京湾に関わる企業、研究者、水産関係者、レジャー関係者、NPO、市民、行政等の多様な関係者が、その英知を出し合い、共に連携協働し、楽しみながら環境再生の取組をする、新しい文化を育てていくことになる。

賛同された会員の状況は下記のとおり。

個人会員の内訳 全250人

名称	人数	割合(%)
企業	85	34
NPO	36	14
レジャー	8	3
水産	4	2
大学・研究	43	17
行政	27	11
個人	47	19

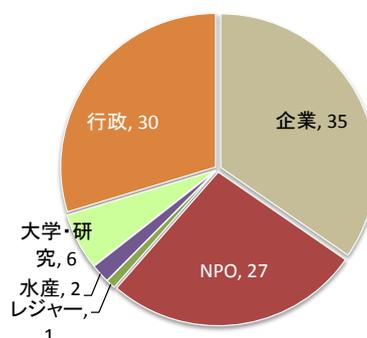
個人会員構成



団体会員の内訳 全101団体

名称	団体数	割合(%)
企業	35	35
NPO	27	27
レジャー	1	1
水産	2	2
大学・研究	6	6
行政	30	29

団体会員構成



V. 東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度総会

- 開催日時：平成 26 年 10 月 25 日（土）
10：00～12：20
- 開催場所：横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3F ホール
(神奈川県横浜市中区新港 1-1-1)
- 出席者：会員数 339(団体・個人)に対し
出席 76(団体・個人)、委任状 87(団体・個人)



平成 26 年度の総会が実施された。

フォーラム設置要綱に則り、資料一1、議事次第（案）が総会の議事として承認され以下の次第により議事録署名人として宮本六男氏（東京湾の環境をよくするために行動する会）、田中ゆう子氏（東亜建設株）が選任された。平成 25 年度活動報告及び平成 26 年度活動計画、プロジェクトチームの活動報告、新プロジェクトチーム設立報告が行われた。

審議議題に移り、フォーラムがスタートして今回初めての政策提案となる「東京湾再生のための行動計画（第二期）の指標提案」に関して、岡田指標 PT 長から説明があり審議が行われた。審議の結果、提案が承認された。

東京湾官民連携再生フォーラムのロゴマークの選定経過説明とともに制作者 工藤和久（青森県弘前市）氏の最優秀賞の表彰（写真）が行われた。今後、このロゴマークを使用して、より親しみをもたせた東京湾再生官民連携フォーラムの PR を実施。

「総会内容」

次 題：

1. 開会
2. 議長挨拶
3. 議事
 - (1) 議題の採択
 - (2) 議事録署名人の選出
 - (3) 報告議題
 - (3)-1 平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画
 - (3)-2 プロジェクトチームの活動報告
 - (3)-3 新プロジェクトチーム設立報告
 - (4) 審議議題
東京湾再生推進会議への政策提案について
4. 表彰
ロゴマーク最優秀賞表彰
5. 閉会

配付資料

- 資料-1 第一号議案 平成26年度通常総会 議題（案）
資料-2 平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画
資料-3 プロジェクトチーム活動報告
資料-4 PT設立ステップフロー
資料-5 新プロジェクトチーム活動計画
資料-6 第二号議案 東京湾再生推進会議への政策提案について
資料7 ロゴマークの表彰
- 参考資料-1 東京湾再生推進会議への政策提案手順
参考資料-2 指標PT政策提案の意見照会に対する意見と対応
参考資料-3 東京湾再生のための行動計画（第二期）の指標提案 概要版



東京湾再生官民連携フォーラム

■平成 26 年度総会での表彰式

ロゴ作成者・工藤和久氏、表彰者・來生議長



■東京湾再生のための行動計画（第二期）の新たな指標に関する政策提案



東京湾再生官民連携フォーラムから東京湾再生推進会議へ 平成 26 年 11 月 17 日

(左：来生フォーラム議長、右：露木海上保安庁総務部参事官)

広報活動(東京湾大感謝祭関連報道実績)

	発表主体	ウェブサイト/媒体名	内容	備考
1	国土交通省プレス発表	http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_00097.html	横浜赤レンガ発！世界に誇れる東京湾へ！ 第2回東京湾大感謝祭を開催します。	10月25日、26日に東京湾の恵みを楽しみ感謝するイベント「第2回東京湾大感謝祭」を、横浜赤レンガ倉庫で開催します。
2	関東整備局	http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/03info/03kiswa/2014/260926daikansyasai.pdf	横浜赤レンガ発！世界に誇れる東京湾へ！ ～第2回東京湾大感謝祭を開催します～	平成26年9月26日 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部
3	横浜市港湾局	http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/news/houdou/2014houdou/20141022135548.html	10月25日・26日横浜赤レンガ倉庫で東京湾大感謝祭2014開催！！	記者発表資料 平成26年10月22日 横浜市港湾局企画調整課
	横浜コンベンションビューロー	http://www.welcome.city.yokohama.jp/ja/tourism/eventinfo/ev_detail.php?bid=yv5920	横浜観光情報	電子掲示板 告知
4	カナロコ(神奈川新聞)	http://www.kanaloco.jp/article/79315/cms_id/106794	『東京湾大感謝祭2014』開催イベント告知	
5	Maris(公財マリンスポーツ財団)	http://www.maris.or.jp/blognplus/index.php?e=142&mode=maris	『東京湾大感謝祭2014』開催	
6	トーキョーチアアパーティ	http://ameblo.jp/officejr-cheer/entry-11941265402.html	【イベント】10月26日14時～ 東京湾大感謝祭2014◆@横浜・赤レンガ倉庫広場	
7	UMIチャンネル	http://www.uminikou.com/event-info/icalrepeat_detail/2014/10/26/3568/-/NmNHNWE3YzBiODRjOWIzZjFhY2YzMmlzOGUzNmU5Yzk=.html	マリンイベントカレンダー 告知	
8	横浜山下公園イベント&フェスティバル情報	http://www.yamashitapark.com/2014/tokyo-wan/=html	告知	
9	inStyle Yoga&Cooking	http://www.instyle.sc/141025tokyoWan.html	食 参加者	
10	ふね検 Official Blog 10/18post	http://funeken.blog.fc2.com/blog-entry-827.html	「東京湾大感謝祭2014」が横浜で開催されます。 注目！！事前申込制の乗船体験あり！（ハイブリッド型電池推進船「らいちょうN」	
11	横浜市 温暖化対策統括本部	http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/vgv/event2014.html	東京湾大感謝祭2014のご案内	
12	BLOG:公益社団法人 関東小型船安全協会	http://blog.canpan.info/syoankyo/archive/451	イベント告知「東京湾大感謝祭2014」が、平成26年10月25日(土)、26(日)に開催されます	
13	横浜赤レンガ倉庫HP	http://www.yokohama-akarenga.jp/hall_space/index	イベント告知「東京湾大感謝祭2014」が、平成26年10月25日(土)、26(日)に開催されます	
14	金沢八景一東京湾アマモ場再生会議	http://www.amamo.org/	告知	
15	Diver-web(月刊ダイバーonline)	http://diver-web.jp/	10月25、26日 横浜・赤レンガ倉庫「東京湾大感謝祭」で「らいちょうN」試乗会も！	
16	Walkerplus newsWalker	http://news.walkerplus.com/article/51559/	告知紹介	
17	Walker47	http://www.walker47.jp/article/detail/2_201410260121192105	告知紹介	
18	つり人社	月刊誌つり人社2015.1月号	告知紹介	
19	東京海洋大学	https://www.kaiyodai.ac.jp/topics/2101/21005.html	出展報告	
20	一般社団法人横浜振興協会	No. 120 2015.1よこはま港	結果掲載	
21	朝日新聞デジタル	http://www.asahi.com/articles/ASGB15STSGB1ULOB026.html	横浜で「東京湾感謝祭」海の幸身近に感じて	
You Tube	横浜市消防局音楽隊 東京湾大感謝祭 オープニング演奏【2014. 10. 25】	演奏アップ	youTub	
ニュース番組	tvkニュース[2014年10月25日(土)]	14/10/25(土)20:24 多くの人に東京湾の魅力について知ってもらおうというイベント、「東京湾大感謝祭」がきょうから横浜市内で始まりました。 このイベントは官民でつくる東京湾再生プロジェクトの一環で、2回目となる今回は横浜赤レンガ倉庫がメイン会場です。会場には東京湾に棲む生きものたちに触れることができるコーナーが設けられています。会場にはこの他、東京湾で捕れたホンビノス貝を無料で試食できるコーナーが設けられているほか、クルーズ船に乗船できるコーナーもあります。このイベントはあすも横浜赤レンガ倉庫で開かれています。	テレビ	
	じゃらんnet		アパホテル宣伝用(宿泊してイベントを見る)	
	日刊建設工業新聞	http://www.decn.co.jp/?p=18433		
	かいこう館	http://www.kaikoukan.jp/	トビックス	
	全国みなと博物館情報 みなとの博物館ネットワーク・フォーラム	http://www.waterfront.or.jp/portmuseum/port/view/522/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E6%B9%BE%E5%A4%A7%E6%84%9F%E8%AC%9D%E7%A5%AD	東京湾の再生を目指して来る10月25～26日 横浜赤レンガ倉庫にて「東京湾大感謝祭2014」イベント開催	
	雑誌・新聞		ポート倶楽部、kaji	
			つり情報	告知
			港湾新聞	告知
			みなと総研	告知

朝日新聞デジタル(ネットニュースサイト チラシなどの掲出)



VI. プロジェクトチームの活動状況

◇モニタリング PT (PT 長 横浜国立大学 客員教授 古川 恵太)

平成 26 年度

- 4 月～9 月 : 「アサリわくわく調査」をモニタリング PT として実施を打診、承認、実施
- 5 月 20 日 : 第 1 回東京湾再生推進会議モニタリング分科会打合せにオブザーバ参加 (東京湾環境一斉調査実施に向けた審議)
- 6 月 : PT メンバーに、東京湾環境一斉調査の準備状況の連絡、参加者の募集 (H26 第 1 回 P T 会合)
- 7 月 2 日 : 第 2 回東京湾再生推進会議モニタリング分科会打合せにオブザーバ参加 (実施詳細、取りまとめに向けた役割分担)
- 6 月 : H26 第 1 回 P T 会合 (東京湾環境一斉調査に向けた審議、メールでの審議 もあり)
- 7 月～12 月 : 「マハゼの住み処調査」をモニタリング PT として実施 (9 月末で中間とりまとめ)
- 8 月 6 日 : 東京湾環境一斉調査延期
- 9 月 3 日 : 東京湾環境一斉調査実施 (9/3 は基準日、水質調査は前後数日、生物調査は 4-9 月を対象)
- 9 月 24 日～10 月 10 日 : 10/26 ワークショップ、マップ作製 WG メンバーの参加募集
- 10 月 26 日 : 東京湾大感謝祭にて調査成果などの発表 (H26 第 2 回 P T 会合兼、東京湾環境一斉調査ワークショップ、マップ作製 WG : 大感謝祭会場にて)
- 10 月～11 月 : マップ原案作成 (マップ作製 WG)
- 11 月～12 月 : H26 第 3 回 P T 会合兼、東京湾環境一斉調査ワークショップ開催 (日程調整中 : 海上保安庁海洋情報部会議室にて)
- 11 月～12 月 : マップ作成作業 (マップ作製 WG)
- 12 月末 : マップ完成目標
- 1 月～2 月 : マップ印刷
- 3 月 : P T メンバーへの配布

◇生き物生息場づくり PT (PT 長 東京大学大学院 教授 佐々木 淳)

平成 26 年 5 月 7 日第 1 回幹事会

1. 幹事会メンバーについて
2. スケジュールについて
3. H26 年度フォーラムにおける成果物と役割分担について
4. 全体理念、具体的プロジェクト案について

平成 26 年 5 月 23 日第 2 回 PT 会議

1. 幹事会の設置について
2. スケジュールについて
3. H26 年度官民連携フォーラムにおける成果発表
4. 全体理念について
5. 江戸前復活のためのプロジェクト提案に向けた話題提供と議論

平成 26 年 7 月 12 日（土）生き物生息場づくり勉強会として干潟観察会を実施

1. 参加人数：参加者 20、講師 3 名
2. 場 所：東京湾葛西海浜公園人工干潟（東なぎさ）

平成 26 年 9 月 11 日第 2 回幹事会

1. 幹事会準備、フォーラム中間報告に向けて
2. 技術的側面について
3. 実証試験に向けた検討
4. その他のプロジェクトの可能性

平成 26 年 9 月 30 日千葉県漁業関係者（底曳）と懇談会@千葉県漁連

平成 26 年 10 月 6 日第 3 回 PT 会議

1. 第 2 回幹事会報告
2. 千葉県漁業関係者（底曳）と懇談会報告
3. PT メンバーからの話題提供
4. 官民連携フォーラムにおける報告内容について

平成 27 年 2 月 12 日第 3 回幹事会

1. 生き物生息場づくりの理念について
2. マコガレイ再興プロジェクト提案について
3. 他のプロジェクト提案について
4. 行政側で検討されているプロジェクトについて
5. フォーラムにおける提言の準備方針について

◇指標 PT（PT 長 国土交通省国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室長 岡田 知也）

平成 26 年 4 月 22 日「東京湾再生のための行動計画」の指標検討 PT 第 4 回

1. 指標に基づき PT 長が集約した結果の説明
2. 指標の利用のしかたについて

平成 26 年 5 月 20 日「東京湾再生のための行動計画」の指標検討 PT 第 5 回

1. 提言までにクリアーする必要がある今後の課題
2. 作業体制について

平成 26 年 6 月 24 日「東京湾再生のための行動計画」の指標検討 PT 第 6 回

1. WG 報告（各 20 分）各分野ごとに議論が行われ、全体会議で結果報告を実施
 - 1) 水質 WG
 - 2) 生物 WG
 - 3) 市民活動 WG
 - 4) インフラ WG
 - 5) その他
 - 6) 指標の枠組み WG)

平成26年7月22日「東京湾再生のための行動計画」の指標検討PT 第7回

1. 目標値の検討および評価指標の課題の検討

- 1) 水質 WG
- 2) 生物 WG
- 3) 市民活動 WG
- 4) インフラ WG
- 5) その他
- 6) 指標の枠組み WG)

平成26年8月19日「東京湾再生のための行動計画」の指標検討PT 第8回

1. 提言案の作成

1) 提案書（案）報告

- ・概要版
- ・本編版

平成26年9月5日（金）-18日（木）フォーラムメンバーおよび実行委員会 意見照会

- ・平成26年10月3日第3回企画運営委員会 指標PTの政策提案：承認される。

◇東京湾大感謝祭 PT (PT長 NPO 法人海辺づくり研究会 理事・事務局長 木村 尚)

平成26年5月23日 第2回東京湾大感謝祭 2014 実行委員会

1. 3月開催の第1回会議により実行委員会方式で東京湾大感謝祭を運用していく方針となる。
2. 実行委員長（田久保）、分野ごとの実行委員メンバーが選出されている。
3. 感謝祭の全体の日程について
 - 1) 全体時間区割り
 - 2) ホール・広場利用、音楽舞台利用に関して
 - 3) 資金予算に関して（会場費用など）
 - 4) 会場申し込に関して
 - 5) 主催など協賛、協力等について
 - 6) 新規企画提案が行われ、了承された。
 - 7) 調整が必要な海上利用の企画に関して

平成26年6月18日 第3回東京湾大感謝祭 2014 実行委員会

1. 主催・共催について
2. 大感謝祭の開催地について
2. 各企画についての具体化

平成26年7月15日第4回東京湾大感謝祭 2014 実行委員会

1. 実行委員長から現状報告
2. 営業パンフに関して
 - 1) 出展案内書（申込書、規約含む）の確認

2) 出展促進について ※委員より営業先を紹介

3. 各担当からの進捗報告

- 1) 展示・営業 三橋・吉野
- 2) 海上イベント 中村
- 3) 食 宮島
- 4) ゆるきゃら 遠藤
- 5) 展示（ホール） 岡田
- 6) ホールセレモニー 岡島（事務局）
- 7) 生き物 工藤
- 8) 協力団体、組織について、音楽（事務局）
- 9) 広報 遠藤（来場動員の方策について ※告知協力可能な媒体・組織の紹介協力）
- 10) その他 釣り、遊漁 など

平成26年8月19日（火）第5回東京湾大感謝祭2014 実行委員会

1. イベント開催に伴う組織団体へのあいさつ・協力依頼
2. 会場区割りに関して

平成26年9月30日（火）第6回東京湾大感謝祭2014 実行委員会

1. 各担当からの進捗報告
2. 会場・ホールレイアウトについて
3. 広報に関して・個別企画の進捗状況
4. 当日の実務担当割り振り

平成26年10月7日（火）第7回東京湾大感謝祭2014 実行委員会

1. プログラム遂行のための具体的手順打ち合わせ
2. 会場内小間割
3. 当日の担当区割り、協力人員手配、雨対策
4. その他、課題解決など
5. 広報に関して
6. プログラムチラシ作成への協力

平成26年11月12日（水）第8回東京湾大感謝祭2014 実行委員会 議事録

1. 反省会&来期に向けて

◇パブリックアクセスPT（PT長 NPO 法人 横浜創造まちづくり学会 会長 竹口 秀夫）

平成26年8月19日に、東京湾再生官民連携フォーラム事務局からPTの会員募集が行われた。

平成26年10月1日 第1回PT会議

1. メンバー紹介
2. 現状認識と取組の方向性について
3. パブリックアクセス観察会の予定発表（横浜港 コットン倶楽部や海芝駅など）

平成26年11月10日(月) 第2回PT会議

1. 景観形成ガイドラインについて
2. アクセスルート調査表(評価書)の検討
3. 現地調査日程

平成26年11月30日(日) 現地調査実施

1. 参加人数 7名
2. コース ①横浜ポートサイド公園鶴 → 神奈川台場 → コットンハーバー ~ 潮彩の渚
②海芝浦 → 国道駅 → 鶴見川河口干潟

平成27年1月22日(木) 第3回PT会議

1. 11月30日現地調査実施報告
2. 検討すべき対象エリアについて協議
3. アクセスすることの意味・意義について協議

◇海水浴復活の方策検討PT(PT長 認定NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会 理事長 関口 雄三)

平成26年8月19日に、東京湾再生官民連携フォーラム事務局からPTの会員募集が行われた。

平成26年12月15日(月) 第1回PT会議の開催

1. 東京湾での海水浴復活の方策検討PTの説明
2. 水浴体験の事例報告(葛西海浜公園)(お台場海浜公園)
 - 1) 討議(質問と提案)
 - 2) 今後の討議内容への提案受付

◇江戸前ブランド育成PT(PT長 水産庁漁政部加工流通課課長補佐 上田 勝彦)

平成26年5月27日(火)

・江戸前PT長 事務局打ち合わせ

①江戸前の定義

- ・千葉県野崎島と剣崎を結ぶ線の内側
- ・江戸前の海で獲れる全魚種に適用

②「ブランド」

- ・「江戸前」(海・魚)
- ・品質と名称と流通が和合した状態

③達成のための3つの展開

- ・江戸前体験機会の向上
- ・飲食業おける江戸前使用度の向上
- ・情報の発信・運用

Ⅷ. 東京湾大感謝祭 2014 の実施

東京湾大感謝祭プログラム

■ 赤レンガ広場 ■

広場ステージ

江戸前の食

ブース企画

■東京湾海上（横浜港） ■

プレジャーボート クルーズ船乗船体験

SUPレース

ハゼ釣り教室

■赤レンガ1号館3Fホール■

シンポジウム

ワークショップ

歴史・文化展示

運営・実施 東京湾大感謝祭実行委員会 事務局

(大感謝祭PTの元に、実行委員会形式により事務局が設置された)



東京湾大感謝祭 2014 のチラシ

感謝祭有料出展協力組織・団体

	【出展企業】		【浮き輪協賛】
1	若築建設株式会社	1	いであ株式会社
2	大日本コンサルタント株式会社	2	日建工学株式会社
3	株式会社大本組	3	ハマの海を想う会
4	東亜建設工業株式会社	4	NPO法人海辺つくり研究会
5	東洋建設株式会社	5	株式会社クルー・エレテック
6	株式会社本間組	6	株式会社中村住装
7	マリンライセンスロイヤル	7	三洋テクノマリン株式会社（5口）
8	五洋建設株式会社	8	株式会社スリービー
9	横浜市	9	日本海洋コンサルタント株式会社
10	国土交通省関東地方整備局	10	株式会社アーク・ジオ・サポート
11	日本工営株式会社	11	株式会社エコー
12	あおみ建設株式会社	12	リビングワークス株式会社
13	オリエンタル白石株式会社	13	港湾局有志
14	ヤマハ発動機株式会社	14	株式会社アスカ
15	生活協同組合ユーコープ		
16	株式会社マーシオンジャパン		【3Fホール関連】
17	喫煙ブース	1	トールシップ総会
	【食】	2	東京湾再生官民連携フォーラム モニタリングPT/江戸前ハゼ復活プロジェクト/なんじゃらもじゃら
食1	遠忠商店 本店	3	東京湾海洋環境研究会
食2	福田海苔店	4	東京湾研究会
食3	佳栄丸	5	東京湾岸自治体環境保全会議
食4	寿司処しゅん御徒町	6	海藻おしば協会
食5	大地を守る会おさかな喰楽部	7	運河を美しくする会
食6	山茂丸水産	8	国土技術政策総合研究所
食7	南魚沼大久保農園株式会社		【その他】
食8	鳩屋海苔店		都漁連内湾釣漁協議会（寄附）
食9	コトモノ株式会社		東京湾遊漁船業協同組合（寄附）
食10	(株)横浜アーティスト		

手旗信号 横浜海洋少年団



海洋少年団・手旗信号実演



ドラムサークルとゆるキャラ®によるステージコラボ



ゆるキャラ®全員参加による海に関する



クイズ出汁の取り方、味わい方 海の幸に感謝！

広場ステージ 2014.10.25 スタート

ステージが目指したことは、すべての人たちに参加して欲しいという希望です。来場された方々は、見る、聞く、楽しむ、アクション、そして体感するといったプログラム構成です。

時間	10月25日 (土)	10月25日 (土)
10:00		オープニング・田久保実行委員長 挨拶 横浜海洋少年団
11:00		濱の海坊主が教えます!! 出汁の取り方、味わい方♪ 登壇者・横浜中央卸売市場 横浜魚市場卸組合 理事 坪倉
12:00	海側ドラムサークル 45分 11:30-12:15	
		ヤマハ・ライブ①アーティストParadi-soul(バラディソウル) オープニングセレモニー
13:00		13:00 演奏・消防音楽隊 13:05 挨拶・来生議長、来賓4名 13:20 謝辞・田久保委員長 13:25 撮影・ゆるキャラ登壇、祝電
		13:40 演奏・河合小学校
14:00		ゆるキャラ®コラボ ドラムサークルゆるキャラ®によるドラム実演
	手づくり一弦ギター ワークショップ	東京湾を知ろう! ゆるキャラ東京湾クイズ選手権
15:00		東京湾再生について語ろう PT長パネルディスカッション
16:00		
		ヤマハ・ライブ②アーティストParadi-soul(バラディソウル)
17:00		

広場ステージ 2014.10.26

東京湾大感謝祭2014 イベント広場・ステージ タイムスケジュール 10月26日(日)	
10:05-10:45 ステージ	横浜海洋少年団 海に親しみ、海に関する知識や技術を学ぶ。様々な国の海洋少年団と交流、国際感覚を身に、海洋や海の清掃、南極探検などボランティア活動でも活躍。
10:55-11:35 ステージ	赤い靴ジュニアコーラス 「赤い靴はいた女の子」多くの人の心を打った名曲、コーラスを渡し地域活動で活躍している皆さんです。子供たちの可能性が大人たちにも生きがいを与えてくれます。
11:40-11:55 ステージ	東京湾を感じてドラムを叩こう♪ ゆるキャラとドラムサークル
12:00-12:40 ステージ	東京湾 de フラダンス・海に感謝♪ ザッツYGクラブ ハワイアン、ポリネシアダンスにおける海にまつわる語りや舞付のお話と会場のお客さんとのフラダンス。
13:00-13:45 広場	海側ドラムサークル
13:00-13:45 ステージ	横浜オープンSUPレース表彰式 海上散歩教えます！SUPのお話♪
14:00-14:30 ステージ	Tokyo Cheer2 Party 天然純情派アイドルグループ、東京湾沿岸で汗をかく頑張っている人すべてを応援します。
14:45-15:00 ステージ	東京湾を感じてドラムを叩こう♪ ゆるキャラとドラムサークル
15:00-16:30 広場	手作りギターワークショップ
15:05-15:35 ステージ	東京湾を知ろう ゆるキャラ東京湾クイズ選手権
15:45-16:30 ステージ	東京湾再生について語ろう PT長パネルディスカッション
16:30-16:55 ステージ	グランドフィナーレ 東京湾なんじゃらもじゃらで大合唱♪



東京チアアパーティー



広場で行われた一弦ギター制作のワークショップ
(子供たちに大人気)



赤い靴ジュニアコーラスの合唱。海をテーマに透明度のある歌声



10.25日 アーティスト Paradi-Soul (パラディソウル)



横浜地元のフラダンスチームの子供たち



ステージと一体となって参加演奏するドラムサークル。
音楽の面白さを発見できます。

横浜に縁のあるステージ出演が実現しました。



▲東京湾再生官民連携フォーラムプロジェクト
チーム長によるパネルディスカッション
なぜ東京湾再生が必要なのか・・・、海に接する機会がどんどん失われ、関心が薄らく日常の中でも海にもエコな環境が必要となっている。

■広場 江戸前の食■



江戸前という「ことば」から連想すると多くの方々は、お寿司を思い浮かべます。私たちは東京湾 江戸前をどうしたらよいかを検討するにあたって、今の江戸前をみなさまに知っていただくことからはじめてみました。

「ホンピノス」は、あさりによく似た食感と味があります。(外来種です)



江戸前三番瀬の海苔 伝統ある海苔の発見



どちらのお弁当も東京湾産です。千葉の野菜とのコラボ（左側）



■広場ブース

広場ブースにおいては、江戸前の食、企業・自治体の展示が行われた。右記のリストは展示出展の企業。主に港湾を中心に、事業を手掛けている企業が中心となった。

企業も単に工事を行うだけではなく、生き物や環境に配慮した新しい技術を使った取組を行っており、環境にとって有益となることからアプローチしている様子が見て取れた。

官庁・自治体・大学の出展では、関東地方整備局、横浜市、さいたま市で、海を中心とした取組の展示をおこなっている。さいたま市は独自の取り組みを実施し、観光面へのアピール、さいたま市・地元企業との共同による出展となった。さいたまの場合は、海はないが流域市として、結果的には、海につながる川と水に対する環境への配慮姿勢が強く感じられた。来場の方々も以外と、内陸に関する興味も高く、秩父市との共同であったが、好評をばくしていた。マリコンの企業活動を紹介する場、生活者にマリコンという言葉ないし港湾の建設・土木などの活動を身近に感じるチャンスは少ない。一つのアピールチャンスとして、生活者への質問に答えるなどあたらしい企業の姿、活動などを多くの方々に伝えることができた。

たくさんのゆるキャラ®が出演



	【出展企業】		【浮き輪協賛】
1	若築建設株式会社	1	いであ株式会社
2	大日本コンサルタント株式会社	2	日建工学株式会社
3	株式会社大本組	3	ハマの海を想う会
4	東亜建設工業株式会社	4	NPO法人海辺づくり研究会
5	東洋建設株式会社	5	株式会社クルー・エレクトック
6	株式会社本間組	6	株式会社中村住装
7	マリンライセンスロイヤル	7	三洋テクノマリン株式会社(5口)
8	五洋建設株式会社	8	株式会社スリービー
9	横浜市	9	日本海洋コンサルタント株式会社
10	国土交通省関東地方整備局	10	株式会社アーク・ジオ・サポート
11	日本工営株式会社	11	株式会社エコー
12	あおみ建設株式会社	12	リビングワークス株式会社
13	オリエンタル白石株式会社	13	港湾局有志
14	ヤマハ発動機株式会社	14	株式会社アスカ
15	生活協同組合ユーコープ		
16	株式会社マーシオンジャパン		
17	喫煙ブース		
			【3Fホール関連】
		1	トールシップ総会
		2	東京湾再生官民連携フォーラムモニタリングPT/江戸前ハゼ復活プロジェクト/なんじゃらもじゃら
食1	遠忠商店 本店	3	東京湾海洋環境研究会
食2	福田海苔店	4	東京湾研究会
食3	佳栄丸	5	東京湾岸自治体環境保全会議
食4	寿司処しゅん御徒町	6	海藻おしば協会
食5	大地を守る会おさかな喰楽部	7	運河を美しくする会
食6	山茂丸水産	8	国土技術政策総合研究所
食7	南魚沼大久保農園株式会社		
食8	鳩屋海苔店		
食9	コトモノ株式会社		
食10	(株)横浜アーチスト		
			【その他】
			都漁連内湾釣漁協議会(寄附)
			東京湾遊漁船業協同組合



国土交通省関東整備局のブースでは、バイクリン（海のお掃除船）も紹介



横浜の海を知ろう 横浜市のブース



東洋建設さんは、アマモの里親募集です。
左手前にあるのがアマモ（お魚の産卵に最適）



お魚にさわれるよ！



五洋建設さんは、生き物探し！



八景島シーパラダイスのブース

■ オープニングセレモニー



横浜市消防局音楽隊 東京湾大感謝祭
オープニング演奏



招待者の方々の登壇
広場での大感謝祭開会式でゆるキャラたちとの記念撮影（前列右から、渡部議員秘書、藤木副会長、鈴木副市長、大脇港湾局長、來生議長、田久保実行委員長、木村 PT 長）



來生議長 ご挨拶

■東京湾海上 プレジャーボート クルーズ船体験

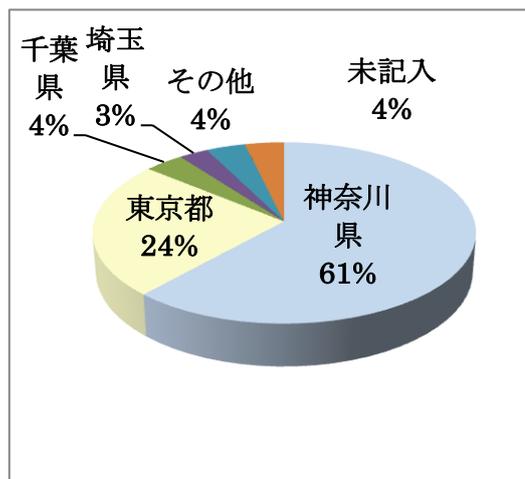
プレジャーボート体験では、2日間で150組223名の方に乗船いただくことが出来た。家族連れの方も多くお越しいただき、特にボート、ヨットは、家族連れが多かった。

	25日			26日			合計		参考 フル定 員数
	運行回数	組数	乗船数	運行回数	組数	乗船数	組数	乗船数	
ボートA	4回	16	27	4回	15	27	31	54	72
ボートB	5回	17	27	5回	13	24	30	51	60
ヨット	4回	18	22	4回	9	20	27	42	64
らいちょうN	2回	28	35	3回	34	41	62	76	100
合計	15回	79	111	16回	71	112	150	223	296

□今度乗船してみたい船は、47%の方がヨットと回答。

今後乗船されたい船は	
ボートA	36
ボートB	16
ヨット	80
らいちょうN	40
合計	172

アンケート属性



今まで経験したことのある海洋レジャーについてお聞きしたところ、海水浴を除き、釣り、ボート、ダイビング、ヨット、カヌーの順。

体験した海に関連した遊び(複数可)	
海水浴	82
釣り	85
ダイビング	51
カヌー	39
ヨット	44
ボート	53
その他	28
合計	382

- 実施期間 : 2014年10月25日(土)～26日(日)
- 実施場所 : 象の鼻パーク 体験乗船会受付
- 実施方法 : アンケート用紙手渡し、本人記入
* 家族の場合は、代表者が記入
- 取得件数 : 160名
- アンケート調査内容
- 報告内容
 1. 体験乗船会実施結果
 2. 体験乗船者の居住地
 3. アンケート結果

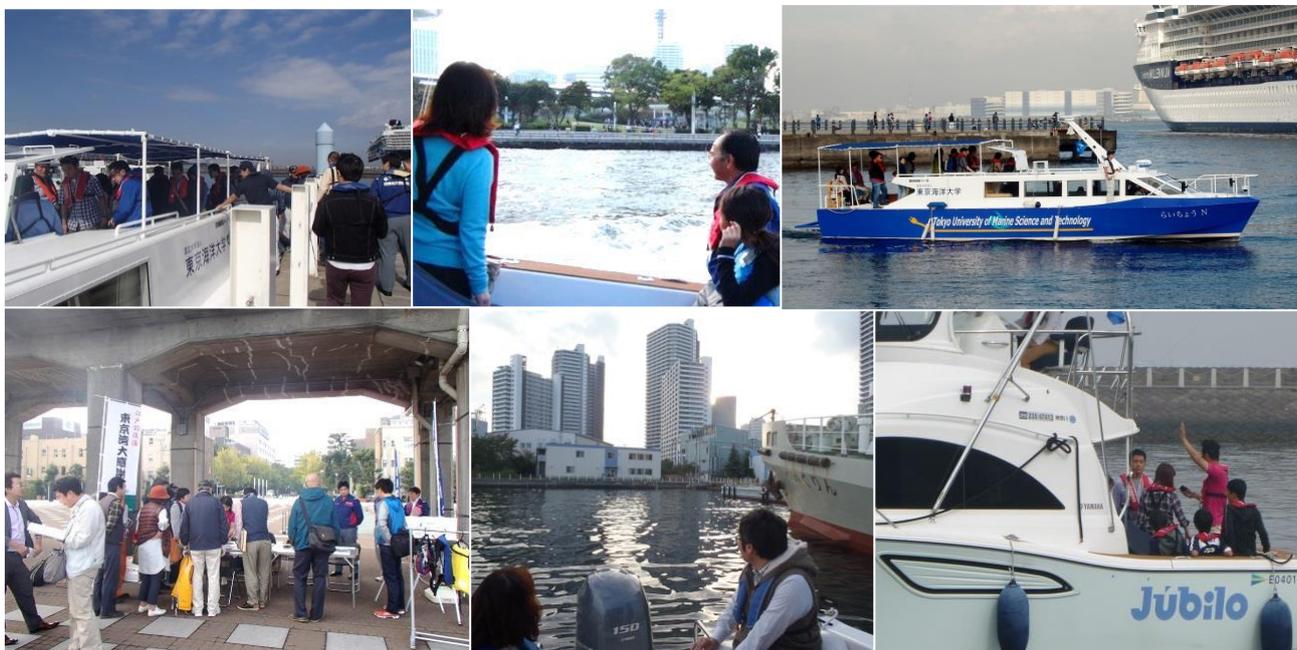
* 横浜港クルーズは、当日予約乗船料 1 人 ¥ 1,000 にて実施。乗船実績は、事務局テントでのチラシ配布効果と天候に恵まれ、25 日定員 400 名⇒実績 385 名、26 日定員 320 名⇒283 名の結果となった。



25日:オセアンブルー 定員:100名	1便 12:45~	2便 14:05~	3便 15:05~	4便 16:05~	合計
大人	51	130	68	118	367
子供	8	5	2	3	18
合計	59	135	70	121	385



26日:オーシャンクラフト 定員:80名	1便 12:45~	2便 14:05~	3便 15:05~	4便 16:05~	合計
大人	47	79	88	54	268
子供	5	4	2	4	15
合計	52	83	90	58	283



SUP レース



■ハゼ釣り教室

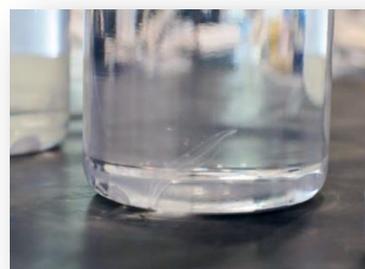
* 26日(日) 運河パークにて10:00~13:00までホームページ(日釣振神奈川支部)による事前公募及び当日受付にて40名参加(ホームページ20名、当日受付20名)のもとハゼ釣り教室を開催した。参加者は、親子にて参加されており釣り糸を垂らすとすぐにハゼが釣れ、皆さん楽しんでおられました。



■赤レンガ1号館3Fホール

ワークショップ 歴史文化展示

東京湾研究会は、江戸前の魚介類の展示、観察に力をいれました。活きた二ホンウナギのレプロケファルス幼生(赤ちゃん)の展示は、研究室レベルの公開はあるが、一般的な活きた二ホンウナギは初。



■ホール展示の参加組織・団体

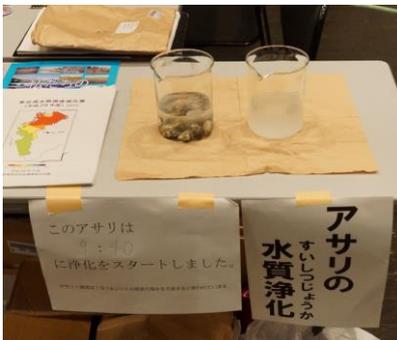
団体名	出展内容	イベント名
半魚人倶楽部 (はんぎょじんくらぶ)	ちりめんじゃこ(しらす:カタクチイワシの稚魚) の中に混じっているちりめんじゃこ以外の生物 (チリメンモンスター)を探して、コレクション カードを作成する。	チリメンモンスターを探せ!
UMI 協議会	活動パネル	海にみんなで行こう!
一般財団法人日本海洋 レジャー安全・振興協会	組みひも教室	組紐を利用したストラップ制作体験!
国土交通省関東運輸局	膨張式ライフジャケット展示及び実演	膨張式ライフジャケットの着用体験!
ハマの海を想う会	海とゴミ袋の絵本動画上映	「まちのうみ、みらいのうみへ」 絵本動画上映
海上保安庁	パネル展示 ・伊能忠敬作東京湾(伊能図)と現在の東京湾 (海図)パネル展示	東京湾の変遷 伊能忠敬が見た東京湾と今
	・ペリー来航当時の東京湾と説明パネル展示	ペリー来航当時の東京湾
	3D地形図	東京湾の海底地形
NPO法人日本ビーチ文化 振興協会	ビーチスポーツ普及写真パネル展示	ビーチライフを楽しもう
あらくさ句会	東京湾にちなんだ俳句を詠む	東京湾の四季を詠う
大森海苔のふるさと館	海苔鋤き道具展示および海苔鋤写真パネル展示	江戸前の海苔づくり
浦安市郷土博物館	東京湾(主に浦安)の海辺風景写真展示	かつての東京湾の風景
(独)水産総合研究センター 中央水産研究所	明治の東京湾漁場図展示	明治の東京湾漁場図
木更津金田の浜活性化協議会	脚立2台、釣竿展示	江戸前の風物詩 アオギスの脚立釣り再現!
和竿愛好会	横浜和竿展示	
事務局:	海を活かしたまちづくりコンペ入選作品展示	



海藻おしぼ体験教室

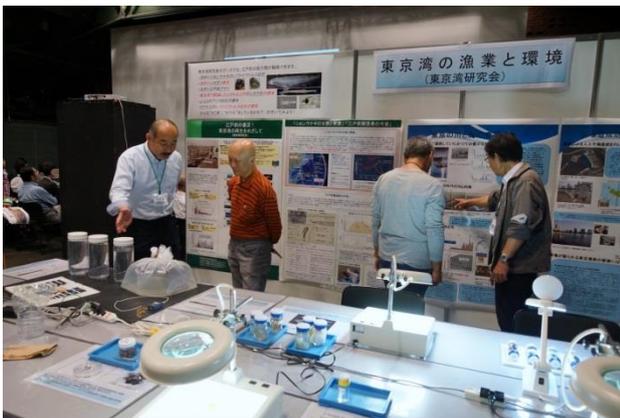


ワークショップ参加者作品例



水質改善の一例です。

▼東京湾研究会展示



横浜和竿 (穂先に鯨のひげを使うのが特徴的な横浜竿は、海釣り用の竿で、元は本牧近辺の漁師が使っていたものが発祥とされています。)



東京湾の歴史に触れる (東京湾の海苔)



東京湾再生の取り組みパネル展示

■来場者 8万 2,000 人

今回第1回の会場・東京 青海のタイム21（来場者 1,200 人）から横浜赤レンガに会場を移しての開催となりました。

平成26年10月25日（土）、26日（日）に開催した東京湾大感謝祭は、天候にも恵まれ、累計で8万 2,000 人の来場者で賑わいました。

目的は東京湾をとにかく意識してもらうことの大切さを訴求する点です。その視点からいえば、まだはじまったばかりです。

東京湾は横浜港も川崎港も千葉港も内包していますが、勘違いをされている方も多く、東京湾=お台場のみエリアと思われる方もいるそうです。同時に関係がないと思われる企業の方、生活者の方も多くいます。

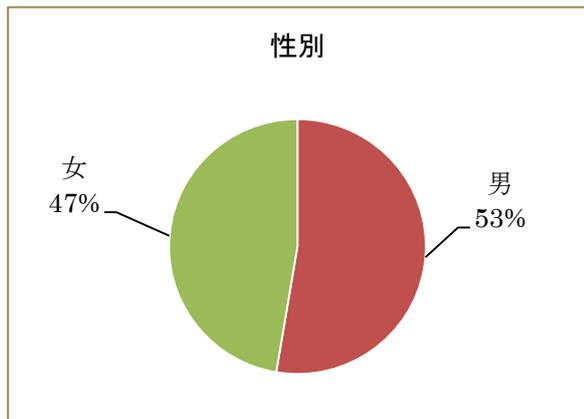
今一度、私たちが生活している「場」をふり返る必要があります。そこには豊かであり、今後も躍動し私たちにさまざまな恩恵を提供し続けてくれる東京湾の存在に気が付くはず。今後、数年間にわたり横浜赤レンガ倉庫でのイベントを開催予定です。

■東京湾大感謝祭2014開催会場アンケート結果

総数：アンケート 1,334 通。(東京湾大感謝祭2014開催会場でのホンビノス無料配布に伴うアンケート)

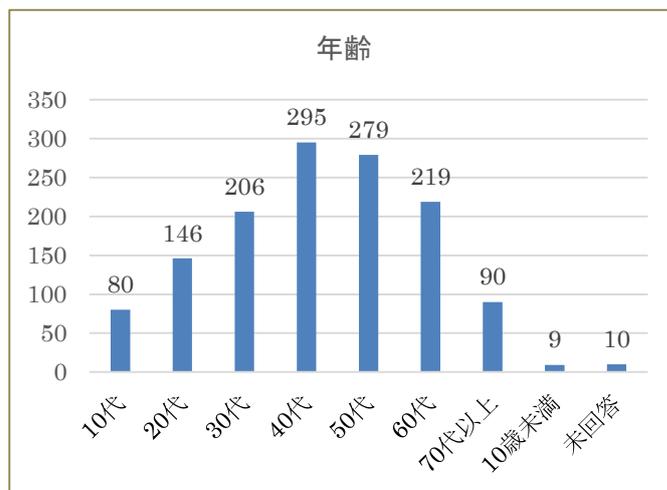
アンケート実施日：2014.10.25.26 の両日。

調査対象：来場者



■男女の差は、特に大きな差はない

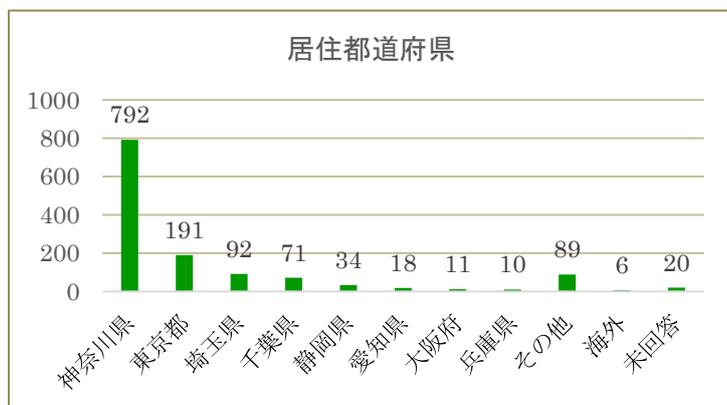
《40代ファミリー層を中心》



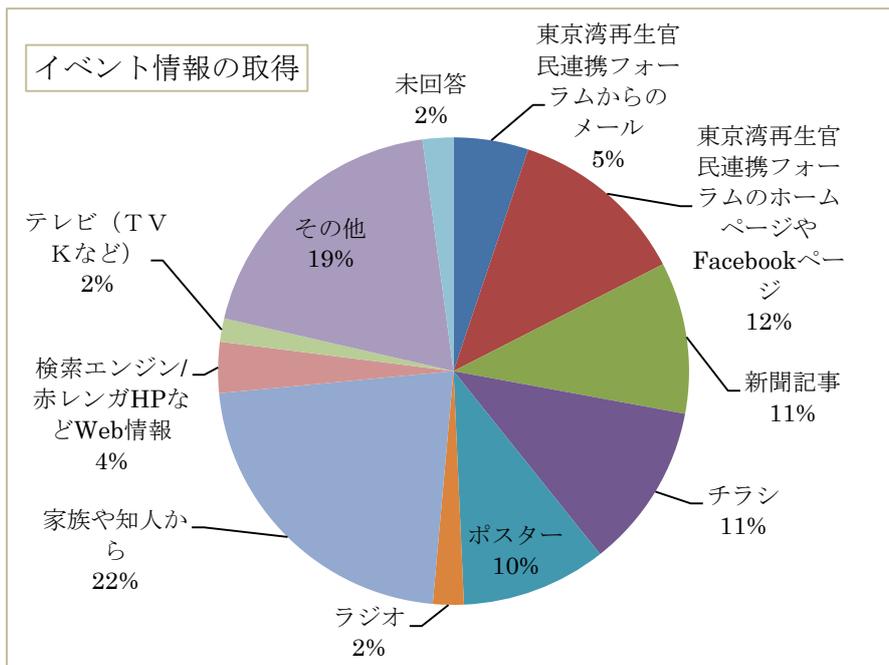
■40代、50代を中心として、子育て真最中の年代層が中心となりました。赤レンガの通常ショッピング層からを勘案すると

30代の中心とは、若干のズレを推測することができます。このズレは、東京湾再生に対する関心ごとのズレとも受け止めることもできます。

前回のアンケートの実績から見ると東京湾再生や環境・エコ、生物多様性など環境への関心ごとは、どちらかというとも20代では意識が希薄になりがち傾向を示していました。また、ホンビノス貝などへの無関心さも含まれると推測できます。今回は最も訴求したいファミリー世代の来場が多かった結果となりました。



■会場・横浜赤レンガのため神奈川県中心の結果となりました。埼玉県の居住が三番目に入っていますが、みなとみらい線でのアクセスの良好さを示す結果でもあり、今後もっと埼玉にも意識的な広報活動を行う必要があります。



■東京湾大感謝祭 2014 のイベント開催を知る情報としては、家族知人など 22%、会員を中心としてのメール、ウェブサイトによりが、合計すると 21%。マス媒体のテレビ・ラジオ・新聞の合計値は、15%。チラシポスター類で、21%を占めている。バランス良い比率ではあるが、今後も会員を中心として、さらにメディアレップ、バズマーケティングの考え方も含めて、有効な方法を検討し、日常の中に東京湾再生がある

という周知活動を検討していく必要があります。

順位	印象に残ったイベント・出展 総合	得票累計
1	ホンビノス貝試食	209
2	葛西臨海水族園	114
3	株式会社八景島	67
4	東京湾を感じてドラムを叩こう♪ゆるキャラとドラムサークル	64
5	乗船体験	57
6	東京湾 de フラダンス・海に感謝♪ザッツYGクラブ	56
7	屋外ステージ	51
8	東洋建設株式会社	49
9	東京湾の漁業と環境 東京湾研究会	45
10	海の森からの贈りもの「海藻おしば体験教室」海藻おしば協会	42
10	横浜海洋少年団	42
12	江戸前弁当(コトモノ株式会社)	39
13	チリメンモンスターを探せ	38
14	ゆるキャラに会えた	37
15	五洋建設株式会社	36

■（最も印象に残る上位 15 コンテンツ）
簡潔に分類すると、下記のような結果となります。

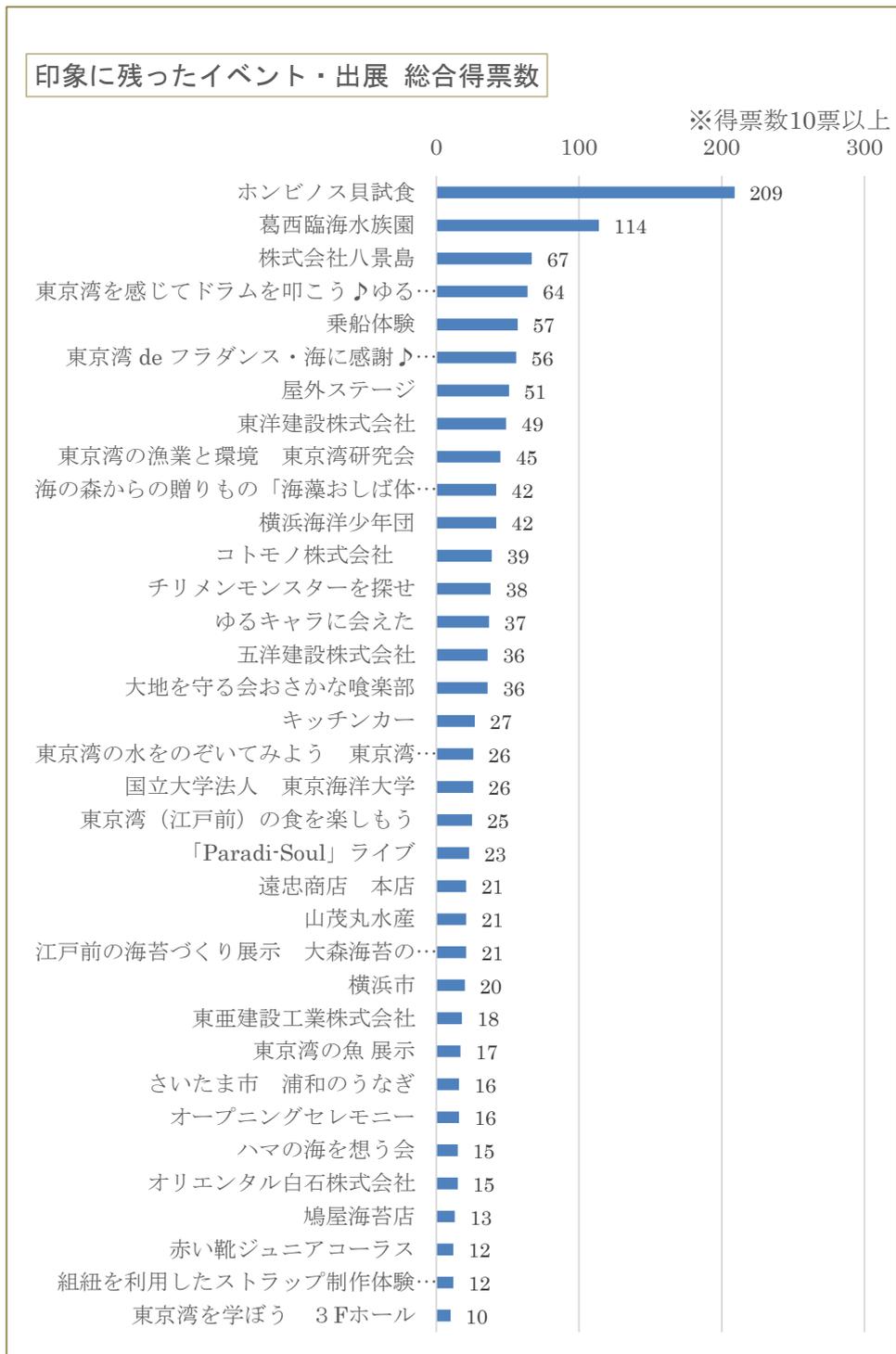
- 1.ステージ 213
- 2.江戸前 39+209 (ホンビノス)
- 3.ブース展示(生き物に触れる) 181
- 4.3Fホール 125
- 5.広場企業展示 85
- 6.海上イベント 57
- 7.広場ゆるキャラ® 37

■上記を踏まえますと、会場全体では、ステージを中心として来場者に印象を与え、ステージコンテンツの重要性が際立ちました。

常設ブースでは、生き物の展示と企業展示の中の 2 社が牽引役となり入場者の目を引いた結果となっています。

さらに、会場をにぎやかにする『ゆるキャラ®』が効果を発揮してくれました。

ホールに転じますと牽引役となったのがワークショップの「海藻おしば」、観察できるシーンを作り出してくれた東京湾研究会が際立っています。そして周りを展示パネルで埋めるというコンテンツ構成となりました。



■東京湾大感謝祭2014実行委員会メンバー

東京湾大感謝祭2014実行委員会		役割と分担
1	実行委員長	田久保
2	幹事役	吉野
3	P T長	木村
分科会 ワーキング・グループメンバー		
1	音楽フェス WG吉野委員	音楽フェスWG・吉野
2	海洋レジャーWG 田久保委員、中村委員	海上（プレジャーボート、SUPなど）担当
3	釣りWG 鈴木委員	釣り
4	水槽展示 WG工藤委員	生き物（水族園など、水槽関係）
5	遊漁・屋形 WG丸委員	遊漁
6	企業展示WG 吉野委員	広場ブース展示 浮き輪協賛
7	バリアフリーWG 森山委員	大型クルーズ船乗船体験 バリアフリー・森山委員(障害者)
8	ホール展示WG 岡田委員	NPOの協力 パネル展示
9	文化・芸術・歴史ホール展示WG 事務局	釣りの道具展示
10	食イベントWG 宮島委員、森山委員	食・江戸前ホンピノス
11	広報・遠藤委員	WEB・記録係（カメラ担当）
12	ゆるキャラ®WG 横浜市 事務局 遠藤委員	ゆるキャラ®
13	営業 WG	事務局
14	アンケートなど	事務局

■東京湾大感謝祭 2014 開催に伴う支援組織協力団体

共催：国土交通省関東地方整備局／東京湾再生官民連携フォーラム／

(一財) みなと総合研究財団／東京湾の環境をよくするために行動する会／横浜港ポート天国推進連絡協議会

後援：東京湾再生推進会議／環境省／海上保安庁／水産庁／国土交通省関東運輸局／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県
／さいたま市／千葉市／川崎市／横浜市／横須賀市／横浜港運協会／(公財) 横浜観光コンベンション・ビューロー
／(一社) 横浜港振興協会／横浜エフエム放送(株)

協力：(一財) セブン-イレブン記念財団／(公財) 日本海洋少年団連盟／(公財) 東京動物園協会葛西臨海水族園／(公財) 日本釣振興会／(一財) ウォーターフロント協会／(一財) 日本海洋レジャー安全・振興協会／横浜港ポート天国実行委員会／京浜フェリーポート(株)／(株) 横浜八景島／ UMI 協議会／マリンジャーナリスト会議／横浜市立川井小学校／横浜ベイサイドマリーナ(株)／ヤマハ発動機(株)／(株) ケーエムシーコーポレーション／都漁連内湾釣漁協議会／東京湾遊漁船業協同組合／神奈川県漁業協同組合連合会／千葉県漁業協同組合連合会／木更津金田の浜活性化協議会／大森海苔のふるさと館／浦安市郷土博物館／金沢八景—東京湾アマモ場再生会議／横浜 SUP 倶楽部／(株) つり人社／(株) つり情報社／(株) 舵社／ NPO 法人日本ビーチ文化振興協会／NPO 法人海辺つくり研究会／ハマの海を想う会

開催日時 2014年10月25日(土曜日)～26日(日曜日)

10:00 横浜 赤レンガ倉庫 広場スタート

開催場所 横浜赤レンガ倉庫(広場、1号館3Fホール)、横浜港
横浜市中区新港一丁目1番

■東京湾大感謝祭は、東京湾再生官民連携フォーラムが母体で、同フォーラムには、7つのプロジェクトチームがあります。そのうちのひとつが、東京湾感謝祭 PT です。この PT メンバーが中心となり活動しているのが、今回で2回目を迎えた東京湾大感謝祭 2014 です。

この組織体は、行政側と民間側がともに新しい協力組織を編成し、第三セクター方式や指定管理者制度、PFI のような方式ではなく、新しい活動を模索しています。

民間や NPO の自主的な活動を中心にして、行政側が応援するという組織マインドを持ち、ノウハウの持ち合いにより、運営しております。より進化した組織機能を構築中です。

■資料編 2013

■東京湾再生官民連携フォーラム活動

第1回目の東京湾大感謝祭 2013.11.23

東京湾再生官民連携フォーラム

設立総会の開催

平成25年11月23日に開催した東京湾再生官民連携フォーラム設立総会では、当日の会員受付を含め、出席会員数224名、放送大学 来生教授がフォーラム議長に選出され、5つのプロジェクトチームの発足が承認された。議長から各T長が指名された。

東京湾大感謝祭は、1,200人を超える来場者数があり、トークショー、東京湾の生きた魚の展示、江戸前の料理試食等を楽しむと共に、東京湾再生に取り組む多様な主体からのパネル展示など。

- 東京湾を見て味わう
- 東京湾で遊ぶ
- 東京湾の歴史を感じる
- パネル展：東京湾を知る(東京湾再生の取り組み)

時間	項目	内容
13:00 -13:20	東京湾大感謝祭 開会式	タイム24 1階 ホール1
13:00	開会挨拶：東京湾 再生官民連携 フォーラム議長 来生新 (放送大学副学長)	来賓祝辞： 野上浩太郎 国土交通省 副大臣、 秋元司衆議院議員、 大西英男 衆議院議員、 江東区 山崎孝明江東区長
13:20	UMIプロ認定 証授与式	対象者：(一財)セブン-イレブン記念財団、 (株)高千穂、味の素(株)
13:35	トークショー	難波喬司：東京湾の環境をよくするために行動する会 「『江戸前』の魚喰いねえ」 島田総一郎：日本テレビプロデューサー × 木村 尚：NPO 法人海辺づくり研究会理事・海洋環境専門家（ダッシュ海岸出演中） 「DASH 海岸の目指すもの」
14:35	リレートーク	テーマ：「江戸前と東京湾を語る」 小泉武夫：発酵学者 堺 美貴：月刊日本橋社長 西條公博：山本海苔店監査役

東京湾再生官民連携フォーラムの活動は、(一財)セブン-イレブン記念財団の助成を受けており、フォーラム活動および7つのPT活動が実施されています。

平成27年2月16日

東京湾官民連携フォーラム事務局

平成26年度決算報告

2015/5/26

【収入の部】

(単位:円)

科 目	H26年度予算	H26年度決算	備 考
(1) 寄付金収入	500,000	250,000	
(2) 助成金収入	5,000,000	5,000,000	セブン-イレブン記念財団
(3) 雑収入	0	38,777	
普通利息	0	393	
その他	0	38,384	
(A) 単年度収入合計	5,500,000	5,288,777	
(B) 前年度繰越金	-1,543	-1,543	
(C) 収入合計 =(A)+(B)	5,498,457	5,287,234	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	H26年度予算	H26年度決算	備 考
(1) 事務局経費	3,390,000	3,248,132	
1) 事務局人件費	2,780,000	2,638,187	12ヶ月(給与、通勤費等)
2) 事務局運営費	610,000	609,945	HP管理・更新、通信費 IT強化、連携調整、マッチング検 討等
(2) フォーラム及び大感謝祭費	2,108,457	1,973,287	企画運営委員会会場借り上 げ費、PT会合会場費借り上 げ費、フォーラム会場借り上 げ費、広報宣伝費等
(D) 単年度支出計	5,498,457	5,221,419	
(E) 単年度収支差額 =(A)-(D)	1,543	67,358	
(F) 次年度繰越金=(C)-(D)	0	65,815	